

コースコンテンツ評価表

評価対象コース名：コーチングのプロセス

評価者： ()

* 体験可能項目：はじめに（学習概要、使い方など）、コンテンツの一部（学習の進め方、状況説明など。体験コースは「指導者と部下との関係」部分）

NG：不十分箇所は網掛けをしている

(1) 出口：学習目標の設定と評価方法の妥当性

評価	評価基準	理由
OK	学習開始時に学習目標がわかりやすい言葉で学習者に提示されているか	コース概要と到達目標が示されている
NG	合格基準や制限時間などの評価条件があらかじめ提示されているか	60点合格とあるが、体験コースの評価問題が2問しかなく、配点に対する評価が適切ではない。
NG	事後テスト合格者は教材の目標をマスターした人だと自信をもって言えるものか	各ユニットの評価問題はあるが、事後テストに相当するものがない
NG	目標とした学習項目全部をカバーするように、いろいろな問題が十分あるか	体験コースの評価問題は少ない

(2) 入口：成人学習理論とターゲット層

OK	学習者が有資格者かどうかを自己判断できる材料があるか	前提知識を必要としない、
NG	教材利用資格が何かを確認し、自信をもたせる工夫をしているか	利用資格に相当する前提試験がなく、ARCSのConfidenceに相当するものはない
NG	教材をやる必要がない人と必要がある人を判別する仕組みがあるか（事前テスト等）	事前テストや前提テストはない
OK	学習の進め方やコンテンツに用意されている各種機能の使い方が分かるか	コンテンツの使い方などの説明はある
OK	自分のペースやスタイルで学習を進めるための工夫があるか	各ユニット、レッスン毎に分割されていて、任意の場所から始められる

(3) 構造：コース要素からの項目立て

OK	メニュー画面があり、コンテンツの全体像がわかるか	コース概要がある
OK	メニュー画面には学習開始直後にアクセスできるか	出来る
OK	易しいものから難しいものへと順序だてられているなど項目間の関係がわかるか	難易度はとくにないが、状況やCOACHの順に例示されている
NG	選択可能事項が適切に設定されていて、選択についての助言が与えられるか	演習後にその項目についてのフィードバックがあるが、最初の説明との関連性がなく、分かりにくい
OK	メニュー画面に学習完了に対する進み具合が学習者にわかる工夫があるか	進み具合が百分率表示される
NG	短い部分に分割されており、飽きないような工夫があるか	体験部分で連続20画面ある。飽きやすく、振り返りにくい

(4) 方略：学習目標の達成を支援するコンテンツの工夫

NG	何についての情報提示かが明らかか (タイトルや見出し)	見出しがコーチングと、分かりにくい
NG	すでに知っていることと関係づけながら新しい情報を提示・解説しているか	前提知識を必要としていないためそのような工夫もない
NG	文字情報は、図表を用いて構造化され相互関係の理解を助けているか	表示されるが、構造化されていない
NG	文字情報以外のイラスト、写真、動画、ナレーション等は学習効果を高めているか	ナレーションが平坦で退屈。動画はない。企業の設定はあるが、登場人物に対する設定がないので、もう少しリアルに設定するほうがよい
OK	習得状況を自分で確認しながら学習を進められるか (例：メニュー項目ごとの練習)	ユニット内がいくつかのレッスンに分かれている
NG	誤りを気にしないで試せる状況(リスクフリー)で練習をする機会が十分にあるか	音声のある画面とそうでない画面が分かりにくい。サウンド環境を要求しているが、イヤホンをつければいい、というものではない
NG	事後テストと同じレベル(難易度/回答方法)で仕上げの練習をする機会があるか	仕上げ練習はシミュレーションで行うことが出来るが、事後テストがなく、複数ユニット全体を振り返る機会もない
NG	苦手なところ/覚えられない項目を集中して練習する工夫があるか	演習や評価テストの結果に対して、解説はあるが、演習などのフォローが全くない

(5) 環境：適切なメディアの選択とサポート体制の確立

NG	学習目標の達成を支援するためにメディアが効果的に使われているか	動画が少なく、説明文書なども平坦で、やや冗長である。
NG	学習環境やコンテンツ開発上の制約に応じて適切なメディアが使われているか	PC (Windows) のみ。現在の IT デバイス状況ではタブレットやスマートフォンでの使用が出来ることは必要条件
NG	持続的に学習を進めていけるようなサポートが準備されているか	学習継続に関するサポートなどは特に明記されていない。

注：OK=大丈夫・NA=該当しない・NG=不十分なところがある